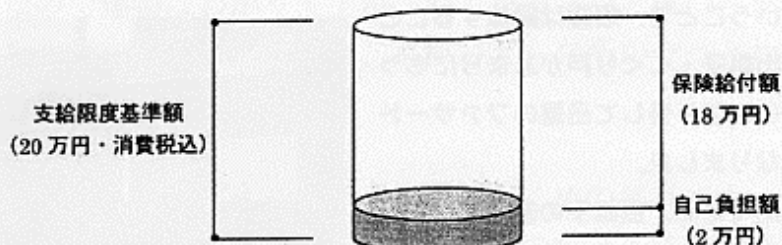




最近のトピックス

最近、「介護保険における住宅改修」を手がける事が多くなりました。

要介護認定を得ている場合、改修に要した費用20万円までについて申請することができ、そのうち9割(18万円)の補助を受けられるという制度です。



補助申請手続きが、以前より、大分厳しくなっています。少しかいつまんでご説明したいと思います。

① 1被保険者につき20万円まで

原則的には、1被保険者につき1回限りです。しかし、・転居した場合、・要介護1から4に上がった場合は、再度申請することができます(合計40万)。

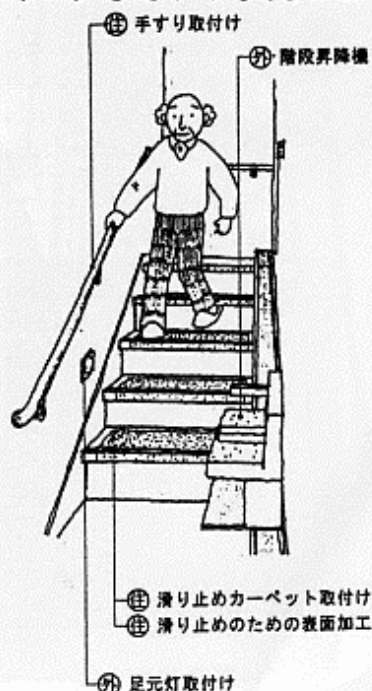
② 補助対象工事が決まっている

どんな工事でも補助ができるという訳ではありません。右の図を見ていただくと、手摺やカーベットの取付は対象になりますが、階段昇降機や足元灯取付は対象になりません。

③ 施工前と施工後の写真が必要

工事を済ませてからでは、申請できないということです。写真の撮り方等も厳しくなっています。

実際に検討される場合は、ご担当のケアマネージャーさんが弊社にご相談いただければ幸いです。



今、こんな仕事をしています

「あらきさんって、今どんな事をやっているのかしら？」という素朴な疑問にお答えします。

京町家の改修

最近、相次いで2軒の町家の改修を終えましたのでご紹介します。

1軒は、明治の中ごろに建てられた、織屋建の町家H邸です。解体される予定だったのですが、ふとしたきっかけで、お施主さんと知り合い、施工させていただく事になりました。

右の写真は改修前と改修後の外観を比較したものです。

駐車場が必番だということで、表屋は解体することになったのですが、出格子・くぐり戸があまりにもつたいないので、きれいに取り外して母屋のファサードに再利用することになりました。

とはいえ、寒さを防ぐため、出格子の後ろには摺りのペアガラスを、くぐり戸の裏側はポリカ版で断熱しています。



H邸玄関ホール



H邸外観/改修前



H邸外観/改修後

左の写真は改修後の通り庭です。町家で一番いい空間だったので、吹抜けのまま残す事にしました。側柱が半間ピッチに並び、大変きれいに仕上がっています。ここも、最大15cm北に倒れていたのですが、ジャッキアップし、布基礎を補強することで、昔あった状態に還元しています。

天井：こげ茶色の木目調クロス 壁：中塗仕上
柱・梁：わびすけ塗 床：松版38mmオスモ塗
正面の襖戸は住まいにあわせて新調しています。

二階の手摺が見えていますが、これは、今回の工事で新調したものです（もともと奥までずっと吹抜けが続いていました）。

二階に見える建具はトイレに続いています。

「住み込み現場で思うこと」

全京都建設協同組合が発行する「協組ニュース397号」に築山君の感想が掲載されました。
少し古くなりましたが、ご一読いただければ幸いです。

--- 大変申し訳ありません ---



① 事務員さんが交代します！

短い期間でしたが、12月に着任いただいた樋口さんが、事情があって退社することになりました。短期間ではありましたが、いろいろありがとうございました。

後任には、南が担当することになりました。

南と申します。

まだ、不慣れなもので、お客様の声からわからず、ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、一所懸命がんばりますので、よろしく願い申し上げます。



② 経営革新支援法の認定企業になりました！

「古材を活用したリサイクル住宅に取り組む」という内容で、京都府から費用の一部を助成いただくことになりました。

古材・古建具がどんどん廃棄され、一方でリサイクルしようとすると、運搬費・補修費がかさんでしまいます。何とか容価に再利用できないかと思い申請にいたった次第です。ご興味のある方はご一報下さい。



編集後記

めっきりあたたかくなりました。今年は例年になく早く暦が咲いたようです。

今回は、村上専務が、大きい現場を2つ持っていて、少し忙しいので私が代わりに編集しました。いかがでしたか？

シックハウス・リサイクル法と、いろんなことがありすぎて、建築を取り巻く環境が激変するこの頃。お施主さんから聞かれても、なかなか即答できない事も多く、勉強が大切ななと痛感しています。

また、いろんなご意見がありましたら遠慮なくお寄せください。

お待ちしております。

監督 荒木 勇

